

わが国 **初** の教材検索WEBサイト

## ネット検索『教材データベース』誕生!!

### 学校が欲しい様々な教材情報が入手できる

教育業界では初めてのネット検索システムが文部科学大臣認可の社団法人日本教材備品協会（JEMA、大江正之会長）が制作し9月にオープンすることになった。この『JEMA教材データベース』は学校で使用される教材に関する仕様、定価、評価情報、くちこみ情報はもとより文部科学省をはじめ教育委員会からも情報をIN-PUTしてもらい、学校が教育に関する情報を入手できるネット検索システムです。公益法人がオープンすることから、一企業だけの情報でなく業界としての情報が入手可能で、利用者にとって大変利用価値のあるネット検索システムとしての構築が期待されています。

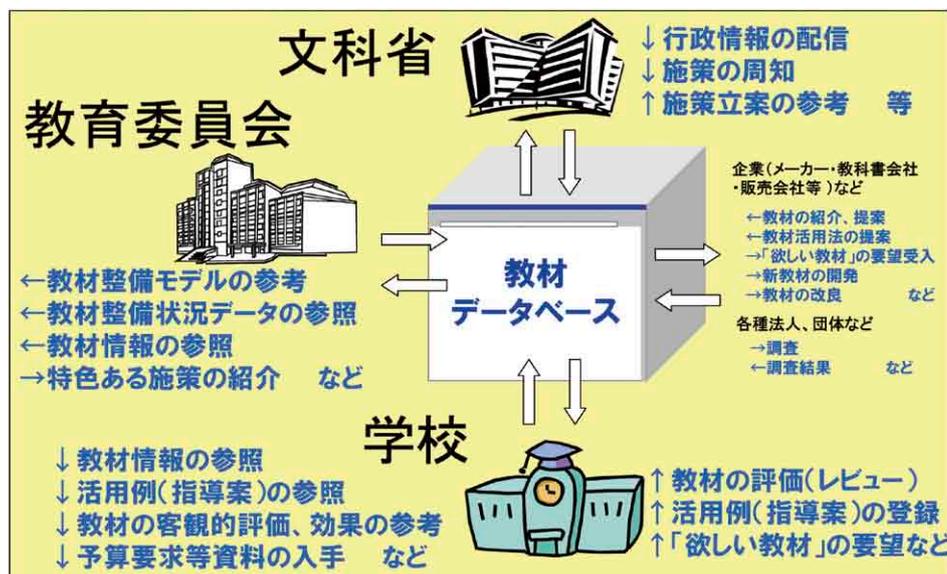
具体的には、学校にとって次のような特長があります。

《 URL <http://kyouzai.jema.or.jp/> 》

- ① 学校が教材を整備する際に必要な情報を入手できる（教材と単元の対応関係）（教材の利用効果）（教材の必要度）など
  - ② 学校が予算申請の際説得性ある情報を入手できる
  - ③ 学校が求める教材のみならず関連教材の情報も入手できる
  - ④ 学校が求める教材の活用例（指導案）などの情報が入手できる
  - ⑤ 学校の生の声を製造会社へ提供できる
  - ⑥ 移行措置で必要な教材は何か
- 等様々な情報を入手できます。

一方、学校は欲しい情報を入手するだけでなく、①自分の使った教材の評価、②活用例（指導案）の登録、③こんな教材がほしいという要望などをIN-PUTすることで、ネットシステムが便利に活用できるものとなります。

### 学校、行政他それぞれが便利に活用できる多面的なシステム!



# JEMA教材データベースの概要

《 URL <http://kyouzai.jema.or.jp/> 》

## 【サイトの主機能】

- ① 教材に関する仕様・定価等のカタログ掲載情報 (教材基礎情報) を提供
- ② 教材の評価情報を提供
- ③ 教材のくちコミ情報の提供
- ④ 学校が求める多くの情報を提供

教材データベースには様々な情報があり、学校は「JEMAデータベース」にアクセスすることによりいつでも欲しい情報を入手できるシステムです。一例として、教材の効果、教材の活用例、教材のカタログ情報 (価格、仕様など)、単元との関連、当該教材の関連商品や消耗品そして必要度や必要数などを知ることができ電子カタログならではの新鮮かつ膨大な情報量を持っていますので利用することで学校の教材活用を活性化することができます。

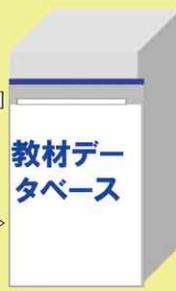
## ●学校の教材活用を活性化する様々なサービス

★欲しい情報はここにある

- 必要な教材の検索、教材情報の参照
- 活用例(指導案)の参照
- 客観的評価(必要度)の参照
- 予算要求等資料等の入手 ←
- 予算情報、文科省施策 他随時追加

★情報発信※会員登録必要

- 教材の評価(レビュー) →
- 活用例(指導案)の登録
- 「欲しい教材」の要望 他随時追加



教材データベース

## 【検索方法】

- ① 教科書の目次からの検索
- ② キーワード検索
- ③ 学習指導要領の内容からの検索

教材情報を知るための検索システムは「教科書目次検索」「キーワード検索」「学習指導要領検索」の3方法から選択できます。教科書目次検索では、校種・教科・学年・教科書会社名・目次すべてがプルダウン方式で選択できますので検索が簡単で利用しやすく学校の視点で構築されたネット検索システムです。

## ●教科書目次からの教材検索



## 【コンテンツの構成】

教材データベースのコンテンツは、写真・教材分類・メーカー・型番・教材名・価格・仕様・メーカーからのPR・評価・レビュー・活用頻度・整備の目安・耐用年数 (コンテンツの供給・更新は月1回JEMA事務局で行うと共に、メーカーが直接管理サイトにおいて随時更新する。)

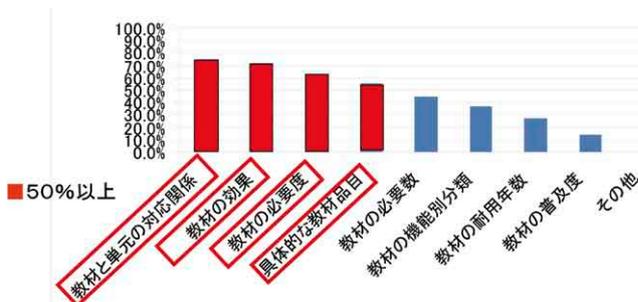
## ●学校はどんな情報を求めているか

(新教育システム開発プログラム 調査Bより)

教材整備の際、あれば有効な情報や仕組みは？

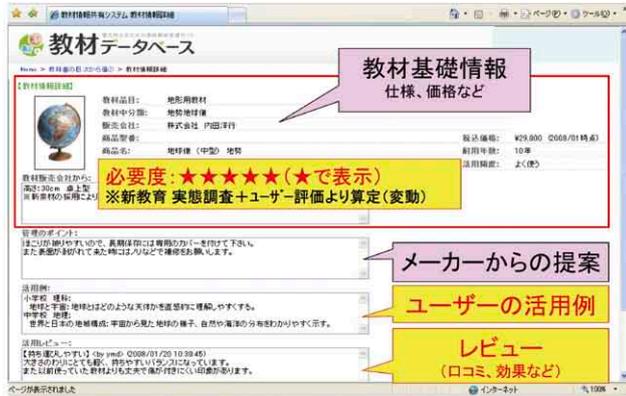
小学校

調査数 437校



# 教材活用を活性化する様々なサービス提供 《 URL <http://kyouzai.jema.or.jp/> 》

## ●生の声が反映された教材情報



## ●学校の教材活用を活性化する様々なサービス



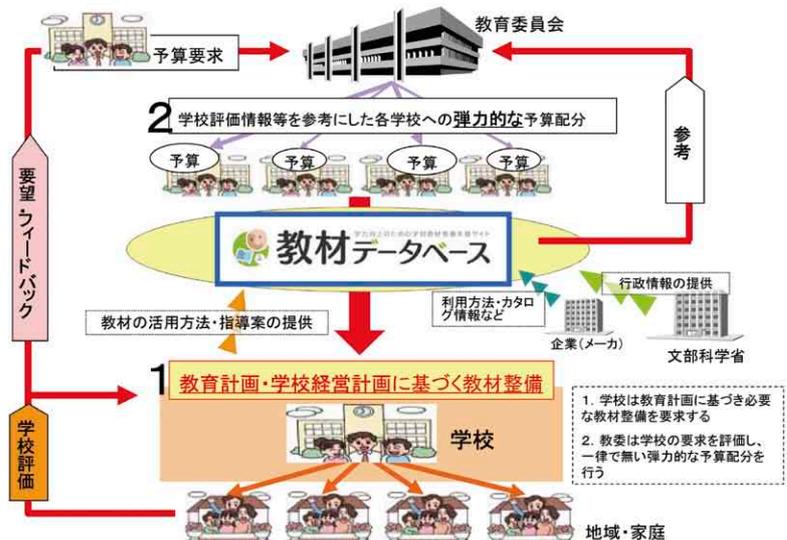
## 【発展するシステム内容】

一般社会と同様に学校におけるネット利用は急速に進みますので、対応してシステム内容を拡大していきます。教材だけでなく理科教材、PCソフト教材、消耗品などコンテンツの内容を拡大することで学校にとって魅力あるポータルサイトになります。「教材データベース」は学校のニーズにマッチしたコンテンツの横広がりどパソコンだけでなく携帯電話からの閲覧(情報入手)や販売店や製造者によるサービスの可能性という情報提供方法(ツール)の広がりが可能となります。

## 提案

# 教材データベースの活用により あるべき教材整備の仕組みの構築を！

学校は、教材データベースを活用〔教材と単元の関係、教材の効果、必要度、活用法〕を知り、自校の教育計画に必要な教材整備を要求する。教育委員会は学校評価情報を参考にし、各校一律でない予算配分を行うことによって本来の教材整備システムが根付くことになる。



# JEMAホームページ〈<http://www.jema.or.jp>〉リニューアル

＝より多くの教育情報を提供!!＝



社団法人日本教材備品協会（JEMA）は今般ホームページをリニューアルし8月3日にオープンしました。リニューアルすることによって、JEMAは情報の速報性を重視し、より多くの情報を発信するホームページに生まれ変わりましたのでぜひ、アクセスしていただきたいと思います。リニューアルを機会に「文部科学省情報コーナー」を設け、①各種文科省情報 ②文教予算情報 ③新学習指導要領—3つの分野に絞って多くの情報を公開していく予定ですのでお楽しみに。さらに「イベントセミナー」のコーナーを設けてJEMAの動向を知っていただく予定です。更に「ディスコジャー」を充実させて公益性を高めていきます。

## JEMA教材教具安全基準適合認定事業のご案内

—子どもたちを健康被害から守ろう—

JEMA  
**安全**  
安全基準適合品

社団法人日本教材備品協会では教材教具からの有害物質（学校環境衛生の基準対象6物質：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン）の放散が当会の基準以下である場合には『安全マーク』をカタログや梱包に表示しております。教材教具のご選定の際にはぜひこの『安全マーク』にご留意ください。

発行 文部科学大臣認可  
社団法人 日本教材備品協会  
〒160-0012 東京都新宿区南元町23 公立共済四谷ビル  
TEL. 03(5919)2055 FAX.03(3341)0266  
URL <http://www.jema.or.jp>